京都大学
医療技術短期大学部紀要

第7号　1987年

目　次

総　説

OTSUKA, T.: Phantom Limb, Phantom Pain and Stump Pain 〈Part II〉 …… 1

原　著

KISHISHITA, M. and USHIJIMA, T.: Amino Acid Utilization of Cutaneous Propionibacteria ……11

黒木　裕士，森永　敏博，鈴木　康三，角南　昌三，高塩　純一：体幹重量負荷歩行と傾斜歩行の酸素摂取量，心拍数ならびにダブルプロダクトに及ぼす影響……14

尾坂　良子：疾病時における行動の社会的，文化的側面
—食生活とらい—……23

加茂　映子："Meditations for a Savage Child"を読む
—歴史の発掘者リッチ—……29

石井　誠士：人間の現在—哲学的省察—(三)……43

抄　録

第一回京都大学医療技術短期大学部健康科学集談会……55

投稿規定……59

編集後記

COLLEGE OF MEDICAL TECHNOLOGY · KYOTO UNIVERSITY · 1975

京大医短部紀要

ISSN
0286-7850

投　稿　規　定 (昭和60年10月8日改定)

投　　稿：投稿論文は，総説，原著，短報などとし，本短期大学部教職員（元教職員を含む）が著者，または共著者であるものに限る。

論文の受付：原著（表紙，本文，図，表など）はコピー2部を添え(計3部)，当該年度の6月30日までに，編集委員会に届ける。編集委員会に届けられた日をもって受付日とする。編集委員会は，割付けおよび全体としての統一などをはかるために，著者に対し表現方法その他の変更，削除などを求めることがある。

原稿の書き方：原稿は，次の規定に従って書かれたものであること。

1. 表紙（原稿第一枚目）の前半には表題，著者名，所属およびその所在地，ランニング・タイトルをこの順に従って書く。なお，外国語原稿の場合は，上記各項の日本語を併記する。

   後半には原稿の枚数，図，表の数，別刷希望部数を書く。筆者の所属の表記は，筆頭者は無記号，共著者の所属が異なる場合はその著者名の右肩およびその所属名の冒頭に*,**……印をつける。

2. 原稿には，英文の表題，著者名，所属，抄録（20行，または200 words 程度）および Key words（8語以内）をつける。著者名の姓は，大文字で表記する。

3. 欧文原稿および英文抄録は，必ずダブル・スペースでタイプする。また，当該国人が読んで，正確，明快に理解できるものでなければならない。

   和文原稿は原則として，常用漢字，ひらがな，現代かなづかいを用い，B5版の400字詰横書き（論文の内容上とくに必要な場合は縦書き）原稿用紙に清書する。外国語固有名詞（人名など）は原語を，一般に日本語化された外国語は，片かなを用いる。度量衡は，CGS 単位とする。

4. 論文の項目の区分は，原則として下記の例に従う。

   大項目……無記号で下線をつけ，前を一行あける。原著論文の緒言（INTRODUCTION），材料（MATERIALS），方法（METHODS），結果（RESULTS），考察（DISCUSSION）などが相当する。

   小項目……以下の順で使用する。

   1.，2.……行の第1字目に記す。

   1)，2)……行の第2字目に記す。

   a.，b.……行の第2字目に記す。

   a)，b)……行の第3字目に記す。

5. 図（Figure）および表（Table）には，それぞれ別の通し番号をつける。図版(Plate)や写真（原則として白黒）は，図として取り扱う。

   図はなるべく原寸大とし，明瞭でそのまま印刷できるものとする。図版は（14×20 cm）以内にまとめる。図は台紙（20×26 cm 以下）に貼り，さらに薄紙のカバーをつける。カバーには筆頭者名，ランニング・タイトル，図の通し番号を記入する。

   図，表の説明文は，まとめて原稿の末尾につけ，原稿本文中の欄外余白部に，図，表の挿入位置を朱記し明示する。

6. 謝辞は，本文の末尾に入れる。

7. 文献は，下記の要領に従い，引用順に配列し，本文の末尾に一括記載する。外国語文献は必ずタイプする。

   本文中の文献引用箇所には著者名や引用文などの右肩に，その文献番号を[1]，[1,3,6]，[2-5] のように記す。

   雑誌の場合

   全著者名，表題，掲載誌名，巻数（必要であれば号数），頁数（頁一頁），発行年(西暦)の順に記す。雑誌略名は，日本医学雑誌略名表（日本医学図書館協会編）および Index Medicus に従う。

〔例〕

1) Sakaguchi, K. & Jameson, E. W.: Two new fleas from Japan. J. Med. Zool. 10: 156-162, 1959.
2) 菅沼美奈子，内山和美，三井政子：性周期記録表の試み，母性衛生19(1)：76-82, 1978.

単行本の場合

著者名，(表題)，書名（版数)，(編者名)，引用頁（頁一頁）または（総頁数)，発行所，発行地，発行年（西暦）の順に記す。

〔例〕

1) Wintrobe, M. M.: The erthrocyte. In Clinical Hematology, 7th ed., p. 80-220, Lea and Febiger, Philadelphia, 1974.
2) Schwartz, T. W. & Tager, H. S.: Biosynthesis of pancreatic polypeptide. In Gut Hormones, 2nd ed., ed. Bloom, S. R. & Polak, J. M., p. 202-205, Churchill Livingston, Edinburgh, London, Melbourne, New York, 1981.
3) Hodgkin, A. L.: The Conduction of the Nervous Impules. 108P., Liverpool Univ. Press, Liverpool, 1964.
4) 冨田　仁：救急時検査の手技と解釈，アミラーゼ「検査診断マニュアル（第1版)」冨田　仁，熊谷直家，内田耕太郎編，p. 96-99, メヂカルフレンド社，東京，1978.
5) 城戸幡太郎：文化心理学の探究，390P., 国土社，東京，1970.

原稿の枚数：原著論文，総説は，原則として図，表などを含め刷り上り10頁以内，短報などは同じく4頁以内とする。なお，本誌1頁は，400字詰原稿用紙約4枚分に相当する。図は，手札大（9×13 cm）が原稿用紙約2枚分に相当する。

校　　正：著者による校正は，再校までとし，校正時における内容の変更や追加は認めない。

印 刷 費：原図の描画を外部に依頼するときや，カラー写真印刷を希望するときなどは，その経費は著者の負担とする。

別　　刷：別刷は50部を単位とし，50部をこえる分の経費は原則として著者の負担とする。

編 集 後 記

紀要第7号をお届け致します。本号には，巾広い分野からの総説・原著6編と，本年度から新たに，学内の健康科学集談会の抄録を掲載しております。

年内発行の伝統を守るため締切は6月末とせざるを得ませんでした。そのため時間不足で間に合わなかった方もおられたかと思います。締切日を過ぎますと，来春まで紀要への投稿の事を思い出されない方も多いのか，投稿は殆んど6月末に集中しております。紀要委員会は年中窓口を開けておりますので，常に紀要への投稿という事を念頭におかれて研究に区切りをつけ，論文作成をされ，出来次第いつでも御投稿下さいますようお願い致します。

昭和62年10月

紀要編集委員長　浅野仁子

編集委員　福崎哲　石井誠士
加茂映子　城戸國利
木村信子　岸下雅通
松永正人　野村巍
菅沼美奈子　鈴木康三
高橋清之　（ABC順）

京都大学医療技術短期大学部紀要　第7号

Annual Reports of the College of Medical Technology, Kyoto University No.7

昭和62年12月25日印刷・発行

印　刷　中西印刷株式会社
京都市上京区下立売通小川東入る

発　行　京都大学医療技術短期大学部
京都市左京区聖護院川原町53

ANNUAL REPORTS
OF
THE COLLEGE OF MEDICAL TECHNOLOGY,
KYOTO UNIVERSITY

No. 7 **1987**

CONTENTS

Review

Otsuka, T.: Phantom Limb, Phantom Pain and Stump Pain 〈Part II〉 1

Originals

Kishishita, M. and Ushijima, T.: Amino Acid Utilization of Cutaneous Propionibacteria 11

Kuroki, H., Morinaga, T., Suzuki, K., Sunami, M. and Takashio, J.: The Effects of Backpack Load Walking and Gradient Walking on Oxygen Uptake, Heart Rate and Double Product 14

Osaka, R.: Social and Cultural Aspects of Behavior During Illness —Diet and Leprosy— 23

Kamo, E.: A Reading of "Meditations for a Savage Child" —Adrienne Rich, Reviser of History— 29

Ishii, S.: The Presence of Human Being —Philosophical Meditation—(3) 43

Abstract

1st Health Science Meeting in The College of Medical Technology, Kyoto University 55

Instructions to Authors 59

Editorial Notes

Ann. Rep.
Col. Med. Tech.,
Kyoto Univ.

ISSN
0286-7850